

事業の実施について

1. 建造物保存修理事業

(1) 保存修理事業費

二荒山神社	161,392,000円
東照宮	486,300,000円
輪王寺	514,040,000円

2. 文化財建造物彩色及び漆塗技能者の研修を行った。

・彩色研修

期 間	平成28年7月11日～11月7日 (内、17日間)
研修場所	(公財)日光社寺文化財保存会 作業棟、他
研修人員	8名
研修内容	修理前の旧彩色の調査、記録を行い復原見取図作製、型紙作製、実習用の手板に漆下地造成から彩色文様復原までを行った。また、彩色修理に使用する伝統的材料および用具類の製造元の見学と江戸期の彩色等が残る社寺の見学を行った。
研修経費	6,513,607円 [国庫補助金 6,000,000円 負担金 513,607円]

・漆塗研修

期 間	平成28年11月7日～平成29年1月13日 (内、12日間)
研修場所	(公財)日光社寺文化財保存会 作業棟
研修人員	6名
研修内容	板唐戸の模型を作り本直し工法で施工し材料の調合及び施工技術を習得する。漆の乾燥期間が必要なため1年間を3回に分け、1月当たり4日で実施した。
研修経費	6,015,546円 [国庫補助金 5,700,000円 負担金 315,546円]

3. 下記の防災設備維持事業を直轄で実施した。

二社一寺防災設備

4. 環境保全 (危険木対策)

国宝・重文指定建造物周辺樹木の倒木及び枝の折損による建造物破損を防止する為、平成26年度の調査を基に、前年度に引続き、該当する樹木の伐採、枝払い、支柱掛け、ワイヤー掛け、避雷針の整備等を行った。

5. 建造物害虫駆除方法の策定について (平成26年度より継続)

独立行政法人東京文化財研究所並びに国立大学法人京都大学との共同研究

6. 日光における、漆塗、彩色、金具、木工の施工法・仕様・伝統材料等に関する教材的映像記録製作

平成25年度より平成29年度まで外注により継続 (平成28年度は木工編」を製作)